

目次 INDEX

- 02-05 特集 **働きたいをみんなで叶える**
- 06-07 **12歳以上の希望者が予約・接種できます**
医療従事者を寄付で応援しよう
- 08 のせでんアートライン 2021 **光と音と食の芸術祭を開催**
都市緑化祭を開催
- 09 Kawanishi Art Project -LIVE- **まちにアートがあふれだす**
文化財ボランティア養成講座を開催
千葉県香取市特産サツマイモの予約販売
- 10-11 **市政情報トピックス**
- 12-23 **お知らせコーナー**
- 24 参画と協働の芽 **持続可能な組織をつくり楽しく過ごせるまちに**
- 25 **食と育つ**
消費生活センターだより
生きる
- 26-27 **フォトニュース**
- 28 Kカルチャー **books+ kotobanoie**

災害に備える ウェブで事前に確認

避難情報や最新の防災マップを市ホームページ（右の2次元コードからアクセス可）で公開。災害への備えとして事前に確認してください。



問い合わせ 危機管理課 ☎ 072(740)1145

接種予約について

市予約専用ウェブサイト（市ホームページが右の2次元コードからアクセス可）か市予約専用コールセンター ☎ 0570(056)787（午前9時～午後5時、土・日曜日、祝日も対応）へ。



接種予約以外の問い合わせ

市ワクチンコールセンター ☎ 0570(022)599（午前9時～午後5時、土・日曜日、祝日も対応）
※ナビダイヤルのため通話料金は利用者の負担となります。

不審なメールや電話はありませんか
ワクチンに便乗した詐欺などに注意してください

厚生労働省の「コロナワクチンナビ」に似せたサイトへ誘導し、クレジットカードの情報入力を求めるメールが確認されています。「コロナワクチンナビ」では銀行口座やクレジットカード番号などの登録を求めることはありませんので、情報を入力しないよう注意してください。

また、電話による、市職員をかたった還付金詐欺も多発しています。ATMで還付金は受け取れません。「お金を返します」と言われたら、一度電話を切って、家族や市役所に相談し、警察にも連絡をお願いします。

公的機関が、ワクチン接種についての個人情報や、還付金など金銭に関わることを、メールや電話で尋ねることはありません。不審なメールや電話があった場合は一人で悩まず、すぐに川西警察署 ☎ 072(755)0110 または、消費生活センターに相談してください。

問い合わせ 消費生活センター ☎ 072(740)1167

医療従事者を寄付で応援しよう



医療現場で働く人たちに感謝の気持ちを一緒に届けませんか。集まった寄付金で、市が包括連携協定を結ぶ㈱ビューティフルスマイルのスイーツなどを贈ります。

ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」でのクラウドファンディングや市役所4階の政策創造課への持参、銀行振り込みなどで寄付を受け付けます。

いずれの方法でも、寄付金控除の対象となります。銀行振り込みによる寄付で控除を希望する場合は同課へ。詳しくは市ホームページ（右下の2次元コードからアクセス可）へ。

振り込み口座

名義「川西市ありがとうプロジェクト寄附金」
池田泉州銀行 川西支店 普通 0393279
三井住友銀行 川西支店 普通 4871304
※振込手数料が必要な場合があります。



問い合わせ 政策創造課 ☎ 072(740)1121

なお、希望者の接種完了に一定のめどが付いたため、10月下旬から、接種日を多くの人が接種しやすい金・土・日曜日に縮小する予定です。

体制を縮小して実施します

ワクチン接種は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と、死亡者や重症者を減らすことが目的です。現在は、12歳以上の接種予約を随時受け付けています。

30歳代以下の接種に協力を

12歳以上の希望者が予約・接種できます

9月15日時点の情報を掲載

市の接種状況（9月15日時点）

年代	1回目の接種率	2回目の接種率	予約を含む1回目の接種率
65歳以上	89.5%	88.3%	89.9%
60～64歳	83.0%	78.7%	84.7%
50～59歳	79.5%	70.9%	83.0%
40～49歳	67.6%	55.2%	73.0%
30～39歳	58.5%	40.1%	67.0%
20～29歳	53.0%	23.4%	62.1%
12～19歳	35.3%	6.0%	59.4%
合計	72.9%	61.8%	78.3%

※接種率は年代ごとの市全人口に占める割合。9月15日時点で集計。
※算出に用いた接種完了人数は、国のワクチン接種記録システム(VRS)から集計。
※予約人数は市の予約システムから市の集団接種に予約しているのみを集計。
※市全人口に占める1回目の接種率66.2%、2回目の接種率56.1%



コロナ禍が隠れていた課題を浮き彫りにしました

市長 越田 謙治郎

新型コロナウイルス感染症のまん延と4回にわたる緊急事態宣言は、医療、地域経済、学校教育など市民生活や社会経済活動に大きな影響を与えています。ただ、多くの場合は、問題が新たに発生したのではなく、コロナ禍によって今まで隠れていた課題が浮き彫りになったと考えられています。



その一つが障がい者雇用についてです。今回の広報誌で取り上げましたのも、コロナ禍による経済状況の悪化で、障がい者の就労機会がより減少しています。そのため、障がい者雇用についてです。今回の広報誌で取り上げましたのも、コロナ禍による経済状況の悪化で、障がい者の就労機会がより減少しています。

新型コロナウイルス感染症のまん延と4回にわたる緊急事態宣言は、医療、地域経済、学校教育など市民生活や社会経済活動に大きな影響を与えています。ただ、多くの場合は、問題が新たに発生したのではなく、コロナ禍によって今まで隠れていた課題が浮き彫りになったと考えられています。

市として具体的な目標を定めるとともに、市内事業者やハローワーク、企業などと連携して、就労機会の確保や環境整備に向けた取り組みを、強化していきたいと考えています。

なお、コロナ禍を収束させるためには、多くの人にワクチンを接種していただくことが最も重要です。市は、希望する市民の皆さんが10月末までに2回の接種を完了できる体制を整えました。

ためらわれている方もいらっしゃると思いますが、ワクチン接種はご自身の生命を守ると同時に、浮き彫りになった多くの課題を解決することにつながります。ぜひご協力をお願いします。